





3 series / tour

Starkey.
Hearing Technologies

スターキー耳かけ型補聴器 取扱説明書

この度はスターキー耳かけ型補聴器 Xシリーズをお選びいただき、誠にありがとうございます。

補聴器をお使いになる前に、取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いいただけますようお願いいたします。

なお、取扱説明書はお読みいただいた後も大切に保管し、補聴器の使い方がわからなくなった際には再読下さい。

フィッティングサービスの重要性

補聴器は適切なフィッティング調整により、その効果が発揮されます。 しかし、装用者のきこえの状態によっては、その効果が異なる場合があります。

目次

1. 安全にお使いいただくために.	4	10. オーディオシューについて 21
2. 各部の名称	6	11. 自己診断を行うには22
3. シリアルナンバーなどの記載	事項 8	12. お手入れをするには 23
4. 電池の交換	9	13. お知らせ音について 24
電池シールについて 電池交換のお知らせ音		14. 販売店様へ 26
5. 電池のフタのロックのかけ方.	11	
6. 補聴器を装用するには	12	15. おかしいなと思ったら27
7. 電源の入/切	13	16. 回路ガイド
8. 音量/メモリーを調整するに	は14	保証について
9. 電話をかける時は 磁石の取り付け方	19	

1. 安全にお使いいただくために

警告/注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を 未然に防ぐためのものです。

ご使用の前によくお読みになり、必ず守ってください。



取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷などを負う 可能性が想定される内容です。



取り扱いを誤った場合、人が損傷を負う可能性 および物的損害のみの発生が想定される内容です。

▲ 警告

- ◆補聴器本体を、幼児やペットの手の届かないところに保管してください。
- ◆補聴器本体またはイヤチップなどを誤って飲みこまないように十分注意して下さい。 もし飲み込むような事故があった場合は直ちに医師に相談ください。

▲ 注意

- ◆ 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、車の中など、高温になりやすい環境に補聴器本体及び電池を長時間置かないでください。
- ◆ MRIスキャンは強い磁力を用いる為、故障の原因になります。MRI室には 補聴器を持ち込まないでください。 また、レントゲン撮影やCTスキャンな どの画像診断機器は補聴器に悪影響を及ぼす為、撮影時には補聴器を外 してください。
- ◆ 補聴器を電子レンジで乾かさないでください。 内部の電子部品が破壊されてしまいます。



- ◆ 浴室など、湿気の多い場所に補聴器本体及び電池を放置しないでください。
- ◆ 分解、改造などはしないでください。修理の際は、お求めになられた販売店 にご相談ください。
- ◆電池のフタを無理に開けたり、閉じたりしないでください。 故障の原因になります。



2. 各部の名称

<BTE312、BTE13スタンダード、BTE13パワー、BTE13パワープラスの場合>



- 1 イヤフック
- **2** マイク
- 3 コントロール サーフェス
- 4 電池のフタ
- 5 左右の目印 赤:右耳用 青:左耳用
- 6 電池のフタのロック

<3シリーズ、ツアーの場合>



- 1 イヤフック
- **2** マイク
- 3 シーソー式スイッチ
- 4 電池のフタ
- 5 左右の目印 赤:右耳用 青:左耳用
- 6 電池のフタのロック

3. シリアルナンバーなどの記載事項

シリアルナンバー(例: 12-345678)

補聴器本体または電池のフタに記載された シリアルナンバーは、補聴器を調整する際に 大切な情報となります。

◆補聴器









Starkey



8

4. 電池の交換

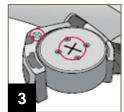




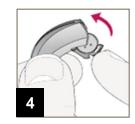
電池のフタに爪をあて、矢印の向きに開きます。



使用済みの電池を 取り出します。



電池のフタには(+)記号 が表示されています。 電池の(+)面を上にして 入れます。



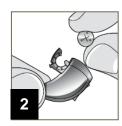
電池

電池のフタをもとどおりに閉めます。

<3シリーズ、ツアーの場合>



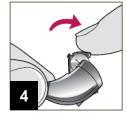
電池のフタに爪をあて、矢印の向きに開きます。



使用済みの電池を 取り出します。



電池のフタには(+)記号 が表示されています。 電池の(+)面を上にして 入れます。



電池のフタをもとどおりに閉めます。

補聴器	ご使用の電池 / シールの色
BTE312 / 3シリーズ / ツアー	PR41(312) / 茶色
BTE13スタンダード / BTE13パワー / BTE13パワープラス	PR48(13) / オレンジ

<電池シールについて>

電池シールは使う直前にはがしてください。

<電池交換のお知らせ音>

電池電圧が低下すると、電池交換のお知らせ音が鳴ります。 お知らせ音が鳴りましたら、できるだけ早く電池を新しいものに取り換えてください。 「13. お知らせ音について」(24ページ)も併せてご覧ください。

▲ 警告

- ◆電池は、幼児やペットの手の届かないところに保管してください。
- ◆使用済みの電池はゴミとして捨てずに、販売店にお持ちください。

▲ 注意

◆ 電池を交換する際には、必ず電池フタに正しくのせてから、電池のフタを閉めてください。 電池をフタにのせずに直接補聴器内に入れると、故障の原因になります。

5. 電池のフタのロックのかけ方

※対象:BTE13スタンダード、BTE13パワー、BTE13パワープラス、3シリーズ、ツアー

お子様が電池を誤飲する危険を防ぐために、チャイルドロックが付いています。

<ロックをかける>

マイナスドライバーなどで、埋め込み式のスイッチをカチッというまで左にずらします。色のついた印が見えます。

「BTE13パワー BTE13パワープラス 3シリーズ、ツアー しの場合

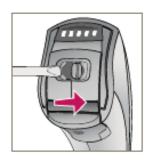
<BTE13スタンダードの場合>





<ロックを解除する>

マイナスドライバーなどで、埋め込み式のスイッチを カチッというまで右にずらします。色のついた印が消 えます。





6. 補聴器を装用するには

1. 通常の耳かけ形



7. 電源の入/切

電池を電池のフタに入れ、閉めると電源が入ります。

電源切 電池のフタを開けると、電源が切れます。

┌ BTE312 BTE13スタンタート BTE13パワ-し BTE13パワープラス



<3シリーズ、ツアーの場合>



🛕 注意

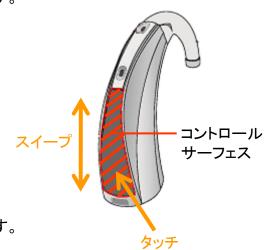
◆ 電源を入れたままにすると、電池寿命が極端に短くなります。 補聴器を使用しない時は、電池のフタを半開きにして電源を切ってください。

8. 音量/メモリーを調整するには

<BTE312、BTE13スタンダード、BTE13パワー、BTE13パワープラスの場合>

補聴器の背面(<u>コントロールサーフェス</u>)を触ることで、「ボリューム調整」「メモリー切換え」を行います。 調整方法は4種類あります。

- ① スイープ ボリュームコントロール 補聴器の背面をスイープしてボリュームの調整を行います。 (15ページ①をご覧ください)
- ② タッチ ボリュームコントロール 補聴器の背面をタッチしてボリュームの調整を行います。 (15ページ②をご覧ください)
- ③ **タッチ メモリー切換え** 補聴器の背面をタッチしてメモリー切換えを行います。 (16ページ③をご覧ください)
- ④ スイープ ボリューム & タッチ メモリー切換え 補聴器の背面をスイープしてボリュームの調整を行います。 補聴器の背面をタッチしてメモリー切換えを行います。 (16ページ④をご覧ください)



14

①スイープ ボリュームコントロール

● 音を大きくするには、指でBからA(下から上)にスイープさせます。



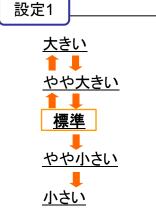
● 音を小さくするには、指でAからB(上から下)にスイープさせます。



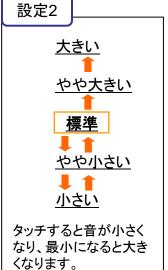
②タッチ ボリュームコントロール

「設定1」「設定2」のどちらの設定になっているかご購入いただいた販売店にご確認ください。





タッチすると音が大きく なり、最大になると小さ くなります。

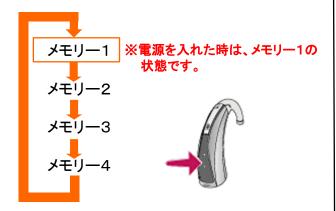


※電源を入れた時は、標準の状態です。

15

③タッチ メモリー切換え

補聴器の背面をタッチすると、メモリーの設定を順番に切換えることができます。



④スイープ ボリューム & メモリー切換え

● 音を大きくするには、指でBからAに(下から上)にスイープさせます。音を小さくするには、指で上から下にスイープさせます。



● 補聴器の背面をタッチすると、メモリーの 設定を順番に切換えることができます。 (③タッチ メモリー切換えを参照下さい)



<3シリーズ、ツアーの場合>

<u>シーソー式スイッチ</u>で「ボリューム調整」「メモリー切換え」を行います。

<u>①ボリュームコントロール</u>

シーソー式スイッチの上側または下側を押してボリュームの調整を行います。



シーソー式スイッチの上側を押すと音が大きくなり、下側を押すと音が小さくなります。

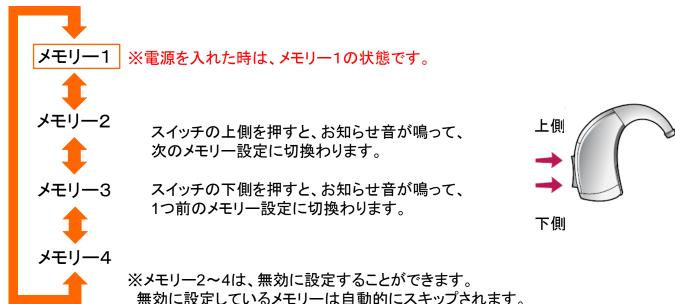
※電源を入れた時は、標準の状態です。

▲ 注意

◆操作部(コントロールサーフェス・シーソー式スイッチ)を必要以上に強く押すと、破損することがあります。

②メモリー切換え

シーソー式スイッチの上側または下側を押してメモリーの設定を切換えを行います。



無効に設定しているメモリーは自動的にスキップされます。

9. 電話をかける時は



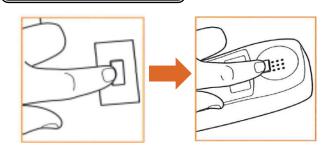
受話器を耳に近づけると、 電話専用の調整に自動的 に切換わります。

※ 受話器を補聴器に当て るようにすると、うまく切 換わります。



受話器を耳から離すと、通常モードに戻ります。

磁石の取り付け方



切換わりが弱い場合は、付属の磁石を受話器 に取り付けてご使用ください。

付属の両面テープを片面に貼り、図のようにしっかりと固定してください。

▲警告

- ◆ 磁石は心臓機器(ペースメーカー、細動除去器、能動型埋込式医療機器など)の医療機器に 影響を及ぼす可能性があります。ご使用前に必ず医師にご相談ください。
- ◆ 磁石を飲み込んだり、耳の中に落としてしまった場合は、直ちに医師にご相談ください。

🛕 注意

- ◆コードレス電話、または携帯電話には機能しない場合があります。
- ◆ 磁石をテープで貼り付ける場合には、スピーカーの穴を全てふさがないようにしてください。

12. オーディオシューについて

※対象:BTE13スタンダード、BTE13パワー、BTE13パワー プラス、3シリーズ、ツアー(オプションになります)

補聴器に専用のオーディオシューを接続すると、FMシステムなどを使うことができます。

※FMシステムは取り扱いメーカーにお問い合わせください。

<取り付け方>



オーディオシューの 黒い部分を補聴器の くぼみにあてます。



矢印の向きに オーディオシューを 取り付けます。



フックがカチッと はまったら取り付け 完了です。

く取り外し方>



矢印の部分を先に外して から、オーディオシューを 取り外します。



矢印の部分を押すと、 電池のフタのフックが 外れます。



電池のフタを矢印 の向きに開き、 電池を交換します。

※BTE13シリーズはオーディオシューを付けたまま、電池交換が可能です。 3シリーズ、ツアーはオーディオシューを取り外してから、電池を交換してください。

1 注意

- ◆ 補聴器のタイプにより、専用オーディオシューの形状が異なります。補聴器に応じて正しいシューを接続して ください。誤って接続すると故障の原因になる他、脱落するなどの恐れがあります。
- ◆ オーディオシューは弊社純正品をご使用ください。 純正品以外をご使用になると故障の原因になる他、脱落するなどの恐れがあります。

回路・レシーバ・マイクの状態をチェックできます。

<方法>

- ① 電池のフタに電池を入れ、フタの開け閉めをゆっくり3回連続で行います。
- ② 補聴器を耳の中に入れます。
- ③しばらくすると「ビー」という音がして、自己診断が開始します。
- ④ その後、自己診断結果が聞こえます。
 - 合格の場合:「良好です」
 - 不合格の場合:「予約します」
 - ※不合格の場合、販売店へご相談ください。



3回

🛕 注意

◆ 自己診断機能をご使用になるには、事前に販売店で設定を行なう必要があります。

12. お手入れをするには



1 ① 補聴器本体の表面は、汗や水、汚れなどをはじいて付着しにくい撥水加工が施されています。

ただし、本体表面に水滴がついたまま、電池交換をすると電池室内部に水が入るなどして、腐食や故障の原因になる場合があります。

水分や汚れが付着した際は、柔らかい布などで、速やかに拭き取って下さい。



2 ② 付属のブラシや綿棒を 使い、付着している耳垢 やホコリを取り除いてください。 スマートイヤチップの取り外し方法 イヤチップをしっかり保持してイヤ チューブの根元をしっかり持ち、 ひねらずに引き抜きます。



スマートイヤチップの取付方法 イヤチップをしっかり保持して指定されたイヤ チューブを差込みます。

▲ 注意

- ◆ スマートイヤチップは弊社純正品をご使用ください。純正品以外をご使用になると、 脱落する恐れがあります。
- ◆ イヤチップ、イヤモールドには、使用状況によりカビが発生することがあります。こまめにお手入れをお願いします。

13. お知らせ音について

電池交換時期、メモリー切換え、自己診断の結果など、補聴器の状態を音声(日本語/外国語、 男声/女声)またはユニークな音(ビープ音)でお知らせすることができます。 設定については、販売店にご相談ください。

お知らせの内容	日本語(男声/女声)	ビープ音
電池交換 電池を交換してください	電池	ピーポーパーポ
パワーオン 電源が入りました	ターラリラーン (メロディ音)	プー
メモリー変更 イチ(ニ、サン、ヨン)のメモリーに切り換わります	イチ(ニ、サン、ヨン)	プ(ププ、プププ、ププププ)
電話 電話特性に切り替わります(オートマチックホン)	※ビープ音と共通	ピロリロリー
ボリューム最大	※ビープ音と共通	ピロピロピロピロピロ(5回) プー

お知らせの内容	日本語(男声/女声)	ビープ音
ボリューム上げる	※ビープ音と共通	ピロピロ・・・(ボリュームに よって回数が変わります)
最適ボリューム位置	※ビープ音と共通	ピロピロピロ(3回)
ボリューム下げる	※ビープ音と共通	ピロピロ・・・(ボリュームに よって回数が変わります)
ボリューム最小	※ビープ音と共通	ピロ(1回)プー
自己診断: 合格 自己診断の結果、合格です ※Xシリーズのみの機能(3シリーズ、ツアー含まず)	良好です	ピポパ ピポパ
自己診断: 不合格 自己診断の結果、不合格です ※Xシリーズのみの機能(3シリーズ、ツアー含まず)	予約します	ピーポー
T2起動 T2オンデマンドを開始します	※ビープ音と共通	ポピー ポピー

14. 販売店様へ

補聴器出荷時は、左右の目印は付いていません。 電池室への湿気の侵入を防ぐためにも、販売する前に右左の目印を挿入してください。 これにより左右の識別が簡単に行え、誤使用の防止にもなります。

<BTE312,BTE13スタンダート、BTE13パワー、BTE13パワープラスの場合>

目印があります。

※BTE312の場合には矢印の位置に

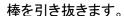
赤:右耳



左右識別棒を電池ドア の穴に挿入します



棒を左に回します。



青:左耳





左右識別棒を電池ドア の穴に挿入します。



棒を左に回します。



棒を引き抜きます。



15. おかしいなと思ったら

補聴器をお使いの際に、音がきこえない、ピーピー音がするなど、おかしいなと思ったら、修理に出す前に、以下の内容をご確認下さい。

症状	考えられる原因	対処法	
音が聞こえない	○電池切れ	〇電池を交換してください。	
	Oレシーバ孔の目詰まり	Oレシーバ孔を掃除してください。	
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。	
ピーピー音がする	〇補聴器が正しく装用され ていない	〇取扱説明書の「6. 補聴器を装用 するには」をご覧になり、正しく 装用してください。	
	●機械的な故障	●販売店に相談ください。	
音がとぎれる	〇電池の消耗	〇電池を交換してください。	
	●機械的な故障	●販売店に相談してください。	

症状	考えられる原因	対処法	
音が小さい	〇電池の消耗	〇電池を交換してください。	
	Oレシーバ孔の目詰まり	〇レシーバ孔を掃除してください。	
	〇マイク開口部の目詰まり	〇マイク開口部を掃除してください。	
	●機械的な故障	●販売店に相談ください	
電池交換後、電池のフタ が閉まらない	〇電池の極性が逆	〇本取扱説明書の「4. 電池の交換」をご覧になり、正しい向きに 入れてください。	
	●補聴器内に異物	●販売店に相談ください	
	●機械的な故障	●販売店に相談ください	

1注意

◆ 電池のフタを閉める際に、力を入れすぎると破損の原因になります。閉まりにくいと感じたら、 電池の向きや補聴器の中に異物が入っていないか確認してみてください。 異物が入っている場合、無理に取り出そうとすると、内部が破損する原因になります。 このような場合には、販売店にお問い合わせください。

16. 回路ガイド: JIS C 5512:2000の7項で要求されている表示項目

項目		単位	BTE312 3シリーズ BTE13 BTE13 BTE13 Nプワー パプラファラス				
名称			Xシリーズ耳	かけ型 (BTE)			
形式名			耳かけ型補聴	器			
製造業者又はその名称			スターキージャパン株式会社				
製造年月日又はその略号			本体に表示				
電池の電極端子の正負			本体に(+)表示				
使用する電池の種類、形式及び電圧 空気電池 PR41(1.4V) 1個 空気電池 PR48(1.4V) 1個							
規準周波数		Hz	z 1,600				
入力音の入射方向			前方				
90dB最大出力音圧レベル	ピーク		135 135 139 142 1				146
	1,600Hz	dB SPL	128	130	130	131	136
	500Hz		116	111	114	126	130
最大音響利得	1,600Hz	dB	63 69 66 74 77				77
規準周波数レスポンス 添付文書参照			•			•	

項目		単位	BTE312	3シリース゛ ツアー	BTE13 スタンタ゛ート゛	BTE13 パワー	BTE13 パワープラス
誘導コイル入力の周波数レスポンス及び最大感度		dBSPL	93	92	97	102	102
等価入力雑音レベル		dBSPL	dBSPL 32以下				
電池の電流		mA	1.55	1.35	1.6	1.7	1.8
電池寿命		時間	95	110	160	150	140
全高調波ひずみ	500Hz		5	10	5	5	5
	800Hz	%	3	4	3	3	3
	1600Hz		3	3	3	3	3

JIS C 5512:2000に基づいて測定されています。 電池寿命は使用状態によって変化します。 仕様は予告なく変更される場合があります。

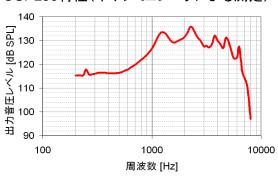
●BTE312

OSPL90特性(イヤシミュレータによる測定)

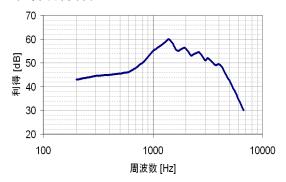


●BTE13スタンダード

OSPL90特性(イヤシミュレータによる測定)



最大音響利得特性(FOG)(イヤシミュレータによる測定)

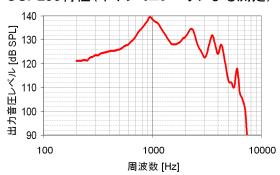


最大音響利得特性(FOG)(イヤシミュレータによる測定)



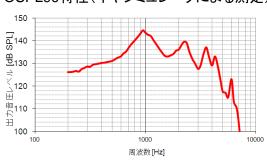
●BTE13パワー

OSPL90特性(イヤシミュレータによる測定)



●BTE13パワープラス

OSPL90特性(イヤシミュレータによる測定)



最大音響利得特性(FOG)(イヤシミュレータによる測定)

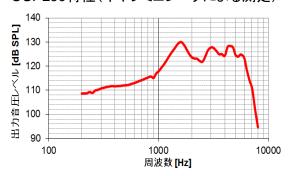


最大音響利得特性(FOG)(イヤシミュレータによる測定)

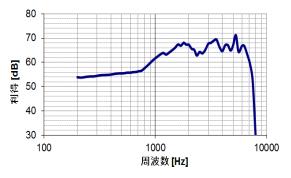


●3シリーズ、ツアー

OSPL90特性(イヤシミュレータによる測定)



最大音響利得特性(FOG)(イヤシミュレータによる測定)



薬事法第63条の規定による表示

製造販売業者名:スターキージャパン株式会社

住所:神奈川県横浜市都筑区仲町台5-2-20

一般的名称:耳かけ型補聴器

販売名:Xシリーズ耳かけ型

区別:管理医療機器

製造番号:製品本体

認証番号:223ADBZX00106000

保証について

修理が必要な際には、お買い求めいただいた販売店にお申し付けください。 その際、販売店には出来るだけ詳しい状況をご説明いただけますようお願いいたします。 また、保証期間経過後の修理についても、販売店にご相談ください。

お買い上げいただいた補聴器の保証書につきましては、内容をよくお読みいただき、 無くさないよう大切に保管いただけますようお願い致します。

くメモン



スターキージャパン株式会社 00 0120-045-190

第2種医療機器製造販売業許可番号:14B2X00027

許可番号:14BZ000426

医療器機認証番号 Xシリーズ耳かけ型:223ADBZX00106000

〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台5-2-20 Tel.045-942-7226 Fax.045-942-7158

BKLT0044-01-JJ-JP JPYBK-044

